

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-062057
 (43)Date of publication of application : 12.03.1993

(51)Int.Cl.

G07F 7/12
 G06F 3/147
 G06F 15/30

(21)Application number : 03-250483
 (22)Date of filing : 03.09.1991

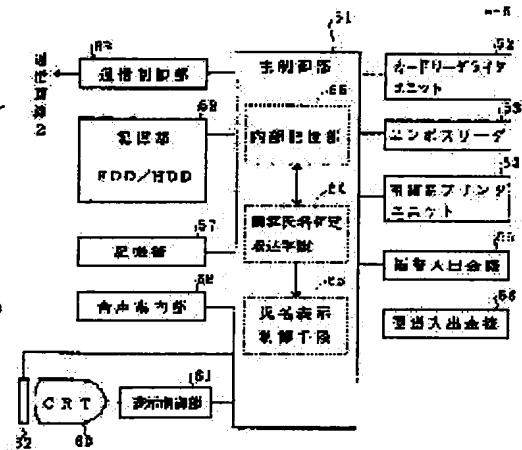
(71)Applicant : OKI ELECTRIC IND CO LTD
 (72)Inventor : NAKAO MASAYUKI
 SATO TOSHIO

(54) AUTOMATIC TRANSACTION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a device which gives the sense of affinity to a customer, is excellent in serviceability and improves the availability by displaying the name of a customer at a displaying means during the transaction execution.

CONSTITUTION: A customer name deciding fetching means 64 transmits the identification number read from a transaction card through a communication control part 63 to a communication controller together with its self-machine number and the communication controller transmits the received identification number, etc., to a processor. At the processor, a control part fetches the name KANJI (Chinese character) code of a customer from a disk device, and transmits it to the communication controller. The customer name deciding fetching means 64, when the name KANJI code is sent in this way, decides that the code is the customer name data, stores the code in an internal storage part and sends it to a name displaying control means 65. The name displaying control means 65 sends the name KANJI code to a displaying control part 61, converts it to the corresponding pattern data and thus, displays the name of the customer on a CRT display 60 until the transaction is completed.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-62057

(43)公開日 平成5年(1993)3月12日

(51)Int.Cl. ⁵ G 07 F 7/12 G 06 F 3/147 15/30	識別記号 E 9188-5B 3 2 0 6798-5L 8818-3E	序内整理番号 F I	技術表示箇所 B
--	---	---------------	-------------

審査請求 未請求 請求項の数1(全11頁)

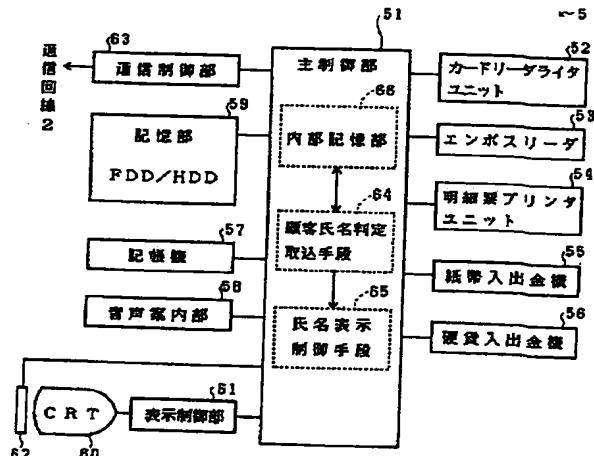
(21)出願番号 特願平3-250483	(71)出願人 000000295 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
(22)出願日 平成3年(1991)9月3日	(72)発明者 中尾 正之 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気 工業株式会社内
	(72)発明者 佐藤 敏雄 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気 工業株式会社内
	(74)代理人 弁理士 佐藤 幸男

(54)【発明の名称】自動取引装置

(57)【要約】

【目的】取引実行中に表示手段にて顧客の氏名を表示する。

【構成】顧客氏名判定取込手段64は取引カードのカードデータに基づいて営業店のプロセッサより顧客の氏名漢字コードを取り込み、内部記憶部66に記憶させる。氏名表示制御手段65は氏名漢字コードを表示制御部61に送り、CRTディスプレイ60に顧客の氏名を取引が終了するまでの間表示させる。



本発明に係る自動取引装置のブロック図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 挿入された取引媒体より顧客情報を読み取り、顧客の選択した取引に関する案内を表示手段に表示させつつ取引処理を実行する自動取引装置において、前記顧客情報に基づいて前記顧客の氏名を示す顧客氏名情報を判定して取り込む顧客氏名判定取込手段と、前記取り込んだ顧客氏名情報によって前記表示手段を制御して前記顧客の氏名を取引が終了するまで表示させる氏名表示制御手段とを備えることを特徴とする自動取引装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、金融機関等に設置される自動取引装置に関し、特に、顧客の氏名を表示することができる自動取引装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 自動取引装置は営業店内に設置され、通信制御装置を介してセンタのホストコンピュータに接続されている。そして、顧客が自動取引装置に通帳や取引カード等の取引媒体を挿入すると、自動取引装置は取引媒体より顧客情報を読み取ると共に表示手段を制御して顧客の選択した取引に関する案内を表示し、顧客情報及び顧客の入力情報をを利用してホストコンピュータとの間で取引情報を授受し、所定の取引処理を実行する。ところで、従来の自動取引装置は表示手段に顧客の選択した取引に関する案内や金融商品のサービス案内を画一的に表示させるだけである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、自動取引装置は金融機関等の無人化の主力として利用されているので、このように表示手段に画一的な案内を表示するだけでは顧客に対するサービスが不十分であり、装置の利用率の向上を図ることができない。本発明は、以上の点に着目してなされたもので、取引を実行している間顧客の氏名を表示手段にて表示することができる自動取引装置を提供することを目的としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、挿入された取引媒体より顧客情報を読み取り、顧客の選択した取引に関する案内を表示手段に表示させつつ取引処理を実行する自動取引装置において、顧客情報に基づいて顧客の氏名を示す顧客氏名情報を判定して取り込む顧客氏名判定取込手段と、取り込んだ顧客氏名情報によって表示手段を制御して顧客の氏名を取引が終了するまで表示させる氏名表示制御手段とを備えることを特徴としている。

【0005】

【作用】 顧客氏名判定取込手段は取引カード等の取引媒体の顧客情報に基づいて顧客の氏名を示す顧客氏名情報を判定し、取り込む。この取り込んだ顧客氏名情報によって、氏名表示制御手段は表示手段を制御し、顧客の氏

名を取引が終了するまで表示させる。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面を参照して詳細に説明する。図2は本発明に係る自動取引装置を含む自動取引システムの構成図である。この図2において、1は通信制御装置を示している。この通信制御装置1には通信回線2を介して汎用端末装置3、プロセッサ4及び複数台の自動取引装置5が接続されている。これら汎用端末装置3、プロセッサ4、自動取引装置5は特定地域に設置されている営業店6の取引システムを構成している。また、通信制御装置1はモデム7を介してセンタ8のホストコンピュータ9に接続され、このホストコンピュータ9には所定の取引情報を書き込み又は読み取るためのセンタファイル10が接続されている。

10

【0007】 上記した汎用端末装置3は主として窓口の勘定系端末として用いられており、IDカードによるオペレータの識別、融資等の記帳処理、伝票の照合等を行う際に利用され、勘定系に関する各種情報が格納されているディスク装置、ディスプレイ部、キーボード部、カードリーダ部、プリンタ部等から構成されている。図3は上記したプロセッサ4の構成を示すブロック図である。このプロセッサ4はホストコンピュータ9より送られてくる照合情報等の基礎情報を分散して保持、管理し、又為替情報等を一時的に蓄積してホストコンピュータ9へ送信したり障害時の取引処理を代行させるために利用される。このプロセッサ4は全体を制御する制御部41と、電源42と、ディスク装置43と、メモリ44とから成り、ディスク装置43はハードディスク又はフロッピーディスク等に基礎情報や取引処理情報等を格納している。メモリ44は取引処理の終了した為替情報等を一時的に記憶させる等のために用いられる。

20

【0008】 以上の構成を有するプロセッサ4は本実施例においては氏名漢字コード供給手段として用いられる。即ち、ディスク装置43には顧客の氏名が漢字コードの形態で予め格納されており、制御部41は自動取引装置5側より後述するように顧客の暗証番号が送信されると、この暗証番号を検索識別データとしてディスク装置43を検索し、顧客に対応する氏名を示す漢字コードを取り込む。そして、制御部41はこの氏名漢字コードを通信制御装置1へ送信する。通信制御装置1はこの氏名漢字コードを通信回線2を介して対応する自動取引装置5へ供給する。

30

【0009】 図1は本発明に係る自動取引装置5のブロック図であり、この自動取引装置5は主制御部51を備えている。主制御部51は以下に述べる処理ユニットの制御及び自動取引装置5全体の制御を行う。52はカードリーダライタユニットであり、図示しないカード挿入口に挿入された各種の取引カードの磁気ストライプより顧客の暗証番号や口座番号、その他のデータを読み取る53読取ヘッドと、取引カードの磁気ストライプに所定のデ

40

50

ータを書き込む書込みヘッドとを有している。53はエンボスリーダであり、取引カード表面のエンボス文字や印刷文字を光学的に読み取り、イメージデータとして出力する。54は明細票プリントユニットであり、折り畳み式のレシート用紙及び補助用の同レシート用紙を有し、これら用紙の繰出し機構及び印字ヘッド、カッター等を含んでいる。55及び56は紙幣入出金機及び硬貨入出金機であり、入力された支払金額の支払処理や振込処理等のための紙幣又は硬貨の金種、真偽、計数等を実行し、紙幣等を紙幣入出金口又は硬貨入出金口より排出する。57は記帳機であり、図示しない通帳挿入排出口より挿入された通帳に取引金額等を印字し、取引終了後に排出する。58は音声案内部であり、顧客に操作処理等を音声ガイダンスするために用いられる。59はディスク装置から成る記憶部であり、主制御部51の制御プログラム等が格納されている。60はCRTディスプレイであり、表示制御部61の制御により顧客の操作に必要な指示やメッセージを案内表示したり、入金や出金、その他の金額を案内表示する際に利用され、又本実施例では特に顧客の氏名を漢字で表示するため利用される。CRTディスプレイ60上にはタッチパネル62が配設されている。このタッチパネル62は顧客が暗証番号や取引選択及び確認等を指により入力する際に利用される。尚、主制御部51に接続されている通信制御部63は、通信回線2に接続されている(図2参照)。

【0010】再び、自動取引装置5において、主制御部51は、図1に示すように、顧客氏名判定取込手段64、氏名表示制御手段65及び内部記憶部66を有している。顧客氏名判定取込手段64は取引カードより読み取った暗証番号を自己の機番番号と共に通信制御部63を介して通信制御装置1へ送信する。通信制御装置1はこの受け取った暗証番号等をプロセッサ4へ送信する。プロセッサ4では上記したように、制御部41がディスク装置43より顧客の氏名漢字コードを取り込み、通信制御装置1へ送信する。これにより、通信制御装置1は機番番号に対応する自動取引装置5に氏名漢字コードを供給する。自動取引装置5において、顧客氏名判定取込手段64はこのように氏名漢字コードが送られてくると、該コードが顧客氏名データであると判定し、該コードを内部記憶部66に格納すると共に、氏名表示制御手段65に送出する。

【0011】氏名表示制御手段65は氏名漢字コードを受け取ると、表示制御部61を作動制御してこの氏名漢字コードを供給する。これにより、表示制御部61は氏名漢字コードをキャラクタジェネレータにてパターンデータに変換し、CRTディスプレイ60に顧客の氏名を漢字で表示させる。即ち、例えば図4に示すように、CRTディスプレイ60の画面において氏名表示エリアAに「沖太郎様」のように顧客の氏名を表示させる。氏名表示制御手段65は顧客の取引が終了するまで上記制御

を行うので、顧客の取引が終了するまでその氏名が表示されている。

【0012】次に、本発明に係る自動取引装置の動作を図6及び図7の動作フローチャートに基づいて説明する。先ず、自動取引装置5の主制御部51は表示制御部61を制御し、CRTディスプレイ60の表示画面上に取引選択画面を表示させる(ステップ1)。この表示において、顧客が「支払」を選択し(ステップ2)、タッチパネル62を押下すると、CRTディスプレイ60の画面上に「カードを挿入して下さい。」の表示が行われる。顧客が取引カードを挿入すると(ステップ3)、カードリーダライタユニット52は取引カードの磁気ストライプのデータを読み取る(ステップ4)。このデータは顧客の暗証番号及び口座番号等を含んでいる。

【0013】次いで、主制御部51が表示制御部61を制御し、CRTディスプレイ60に暗証番号の入力を促す画面を表示させる(ステップ5)ので、顧客がタッチパネル14のテンキーを利用して暗証番号を入力すると(ステップ6)、主制御部51は取引カードより読み取った暗証番号と顧客入力の暗証番号とを比較し、不一致の場合再度暗証番号の入力を促す表示を行わせ、再び不一致の場合ステップ1へ戻る。暗証番号が一致した場合主制御部51の制御でCRTディスプレイ60に顧客の支払を受けるべき金額の入力を促す画面を図4に示すように案内エリアBに表示させる。

【0014】一方、ステップ4でカードデータを読み取ると、顧客氏名判定取込手段64はカードデータより暗証番号を抽出し、この暗証番号及び機番番号を含む氏名要求電文を通信制御部63を介して通信制御装置1へ送信する(ステップ20)。この電文はプロセッサ4へ送信されるので、上述したように、プロセッサ4のディスク装置43より顧客の氏名漢字コードが検索され(ステップ21)、該コードが自動取引装置5へ送信されてくる。

【0015】顧客氏名判定取込手段64は氏名漢字コードを受け取ると、該コードが顧客氏名データであるか否かを判定し(ステップ22)、顧客氏名データと判定した場合、該コードを内部記憶部66に格納すると共に、氏名表示制御手段65に送出する。氏名表示制御手段65は氏名漢字コードを受け取ると、表示制御部61を作動制御し、該コードを供給する。従って、上記したように、CRTディスプレイ60の金額の入力を促す画面に、図4に示す顧客氏名「沖太郎様」が表示される(ステップ23)。この氏名表示は顧客の取引が終了するまで実行される。

【0016】顧客がタッチパネル62のテンキーを利用して支払金額を入力すると(ステップ8)、主制御部51はこの支払金額を暗証番号等と共に通信制御部63へ送出する。通信制御部63は暗証番号等を通信回線2及び通信制御装置1を介してセンタ8のホストコンピュ

タ9へ送信する（ステップ9）。

【0017】センタ8において、ホストコンピュータ9はセンタファイル10の預金口座情報を検索し（ステップ10）、預金残高と支払金額とを比較する（ステップ11）。そして、預金残高が多い場合取引が成立したと判断し（ステップ12）、支払処理を実行した上で支払金額を差し引いた新たな預金残高を取引成立情報と共に通信制御装置1へ送信する。従って、この通信制御装置1より取引成立情報及び預金残高データが自動取引装置5へ送信される。

【0018】自動取引装置5において、主制御部51は取引成立情報を受けると、紙幣入出金機55を作動させる。紙幣入出金機55はこれにより入力された支払金額に対応する現金を計数し（ステップ13）、紙幣入出金口へ排出する。また、主制御部51は明細票プリンタユニット6を制御し、明細票に取引金額、その他を印字させる（ステップ14）。

【0019】その後、主制御部51は表示制御部61を制御し、CRTディスプレイ60に取引カード及び明細票の受け取りを促す画面を表示させる（ステップ15）。顧客がカード挿入口より取引カードを受け取り、かつレシート排出口より明細票を受け取ると（ステップ16）、主制御部51の制御でCRTディスプレイ60に現金の受け取りを促す画面を表示させる（ステップ17）と共に、紙幣入出金口を開く。顧客が現金を受け取ると（ステップ18）、主制御部51は紙幣入出金口を閉じると共にCRTディスプレイ60に図5で示す取引終了画面を表示させる（ステップ19）。

【0020】一方、図5で示す取引終了画面までは上述したように氏名表示制御手段65が表示制御部61を連続的に制御しているので、顧客の氏名が表示されている。取引終了画面の表示が終了した時点では主制御部51より氏名表示制御手段65に取引終了信号が供給されるので、氏名表示制御手段65は表示制御部61を制御してCRTディスプレイ60の氏名の表示を停止させる（ステップ24）。

【0021】上記実施例では営業店6のプロセッサ4におけるディスク装置43に顧客の氏名漢字コードを格納しているが、センタ8のホストコンピュータ9に接続されている外部記憶装置等に顧客の氏名漢字コードを格納してもよい。この場合には顧客氏名判定取込手段64は氏名要求電文をホストコンピュータ9へ送信し、ホストコンピュータ9はこの電文に基づいて漢字コード記憶部を検索し、対応する氏名漢字コードを装置5側へ送信する。

【0022】図8は本発明の他の実施例に係る振込カードの正面図である。この振込カード11は電気料金その他の振込みに利用され、磁気ストライプ12が設けられている。図9は磁気ストライプ12に記録されているデータフォーマットを示す図である。このデータフォーマ

ットは第1トラックが振込先である会社名（コード）、顧客であるお客様番号、振込先の金融機関コード及び口座番号等から構成され、第2トラックが顧客の氏名であるお客様氏名等から構成され、この氏名は漢字コードで示されている。

【0023】以上の構成を有する振込カード11を図1の自動取引装置5へ挿入すると、カード11のデータがカードリーダライタユニット52にて読み取られるので、主制御部51はこの読み取られたデータに基づいて振込処理を実行する。

【0024】一方、顧客氏名判定取込手段64は振込カード11からのカードデータより顧客の氏名漢字コードを判定して抽出し、該コードを氏名表示制御手段65に送出する。氏名表示制御手段65は表示制御部61を制御し、氏名漢字コードを対応するバーチャルデータに変換させ、CRTディスプレイ60に顧客の氏名を表示させる。

【0025】振込処理が終了すると、主制御部51が取引終了信号を出力するので、氏名表示制御手段65はCRTディスプレイ60の氏名表示を停止させる。尚、上記振込カード11に代えて、顧客の氏名が漢字コードで記録されているICカードやその他のカードを用いる場合にも同様に顧客の氏名を取引の終了するまでの間CRTディスプレイ60に表示させることができる。また、上記した各実施例において、顧客の氏名を表示している取引の終了するまでの間とは、取引が不成立になって取引が終了するまでの間も含むものとする。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、顧客氏名判定取込手段にて取引媒体の顧客情報を基づいて顧客氏名情報を判定して取り込み、氏名表示制御手段にて表示手段を制御して顧客の氏名を取引が終了するまで表示させるようにしたので、顧客に親近感を与え、かつサービス性に優れ、利用率の向上を図ることができる自動取引装置を提供することが可能である。

【画面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る自動取引装置のブロック図である。

【図2】本発明に係る自動取引システムの構成図である。

【図3】本発明に係る営業店のプロセッサのブロック図である。

【図4】本発明に係る金額入力を促す画面を示す図である。

【図5】本発明に係る取引終了画面の一例を示す図である。

【図6】本発明に係る動作フローチャートである。

【図7】本発明に係る動作フローチャートである。

【図8】本発明に係る振込カードの正面図である。

【図9】図8の振込カードのデータフォーマットを示す

図である。

【符号の説明】

- 4 プロセッサ
- 5 自動取引装置
- 8 センタ
- 43 ディスク装置

* 51 主制御部

60 CRTディスプレイ

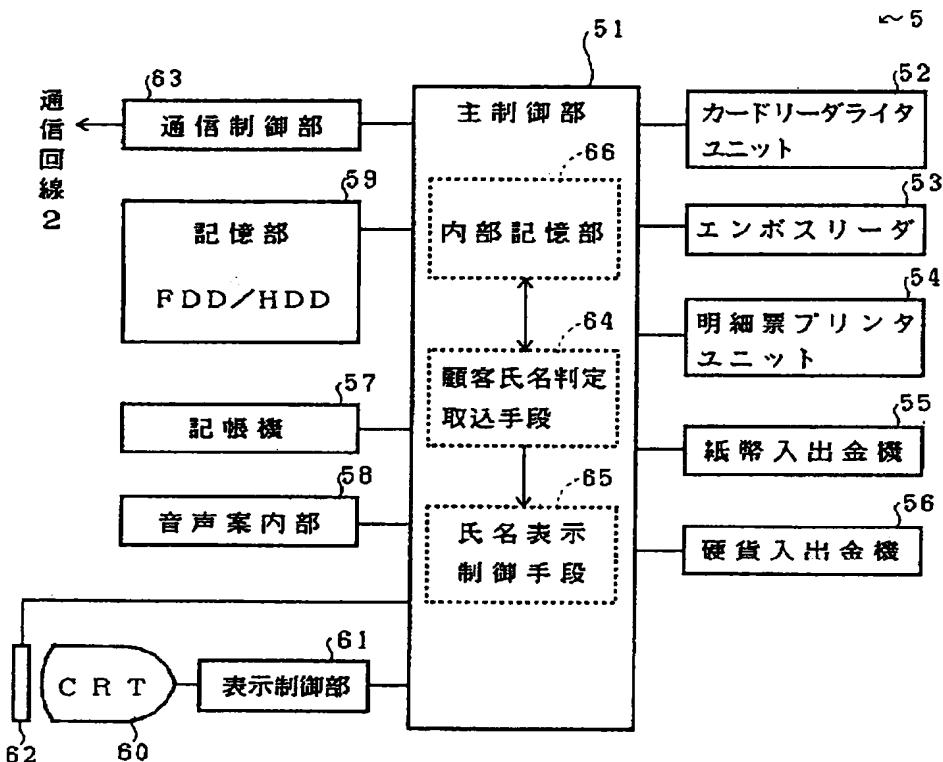
61 表示制御部

64 顧客氏名判定取込手段

65 氏名表示制御手段

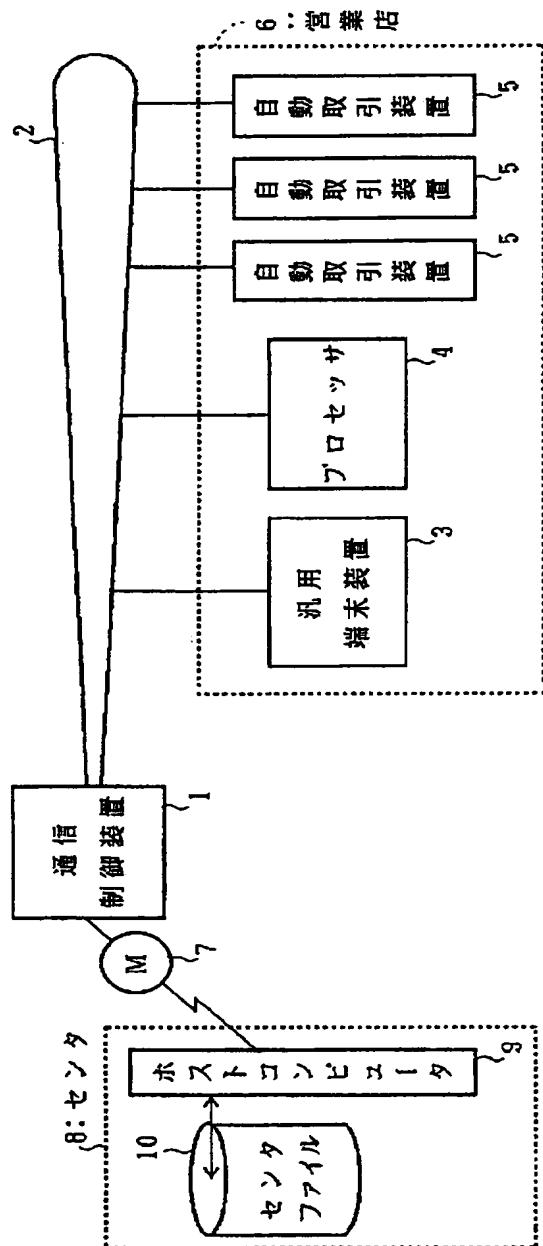
*

【図1】



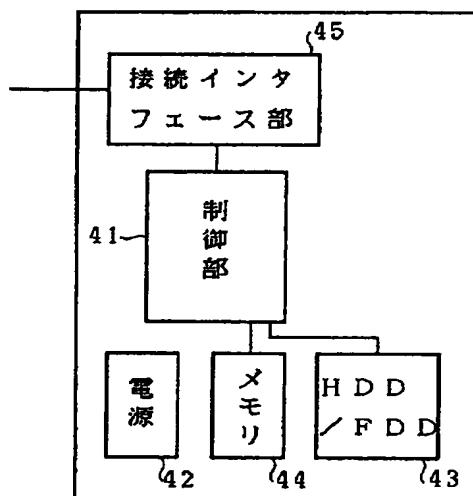
本発明に係る自動取引装置のブロック図

【図2】



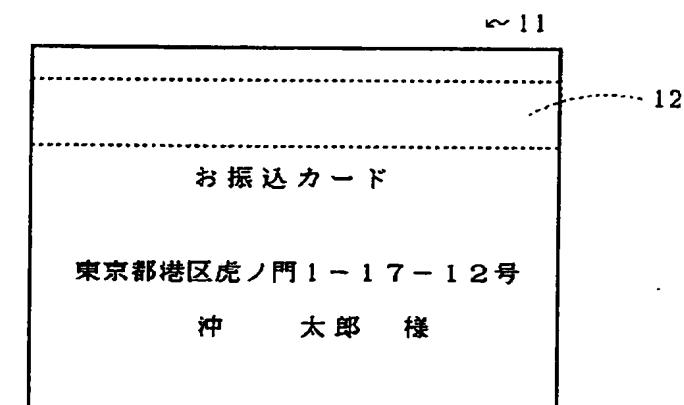
本発明に係る自動取引システムの構成図

【図3】



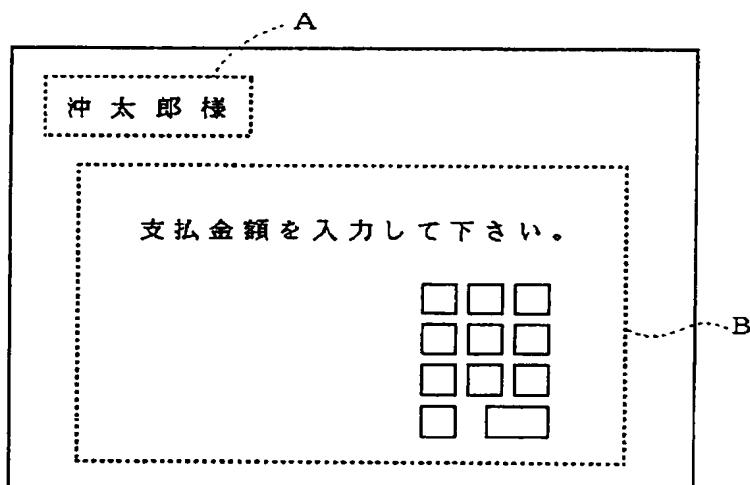
本発明に係る営業店のプロセッサ

【図8】



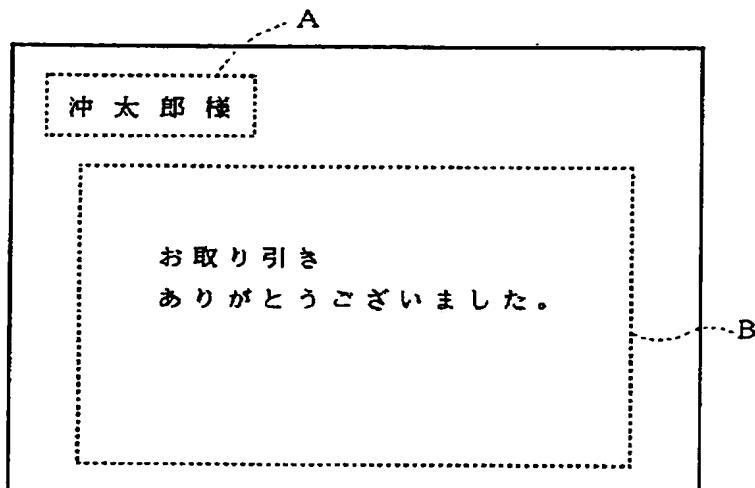
振込カードの正面図

【図4】



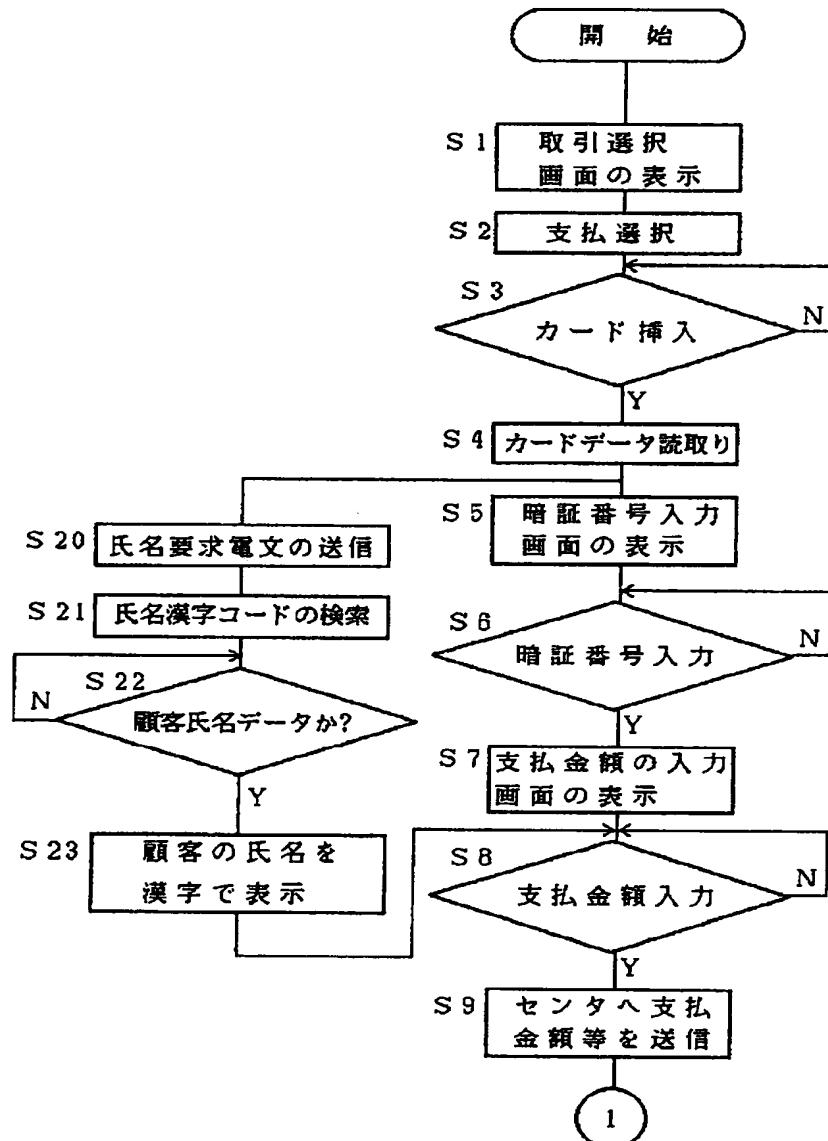
本発明の金額入力を促す画面を示す図

【図5】



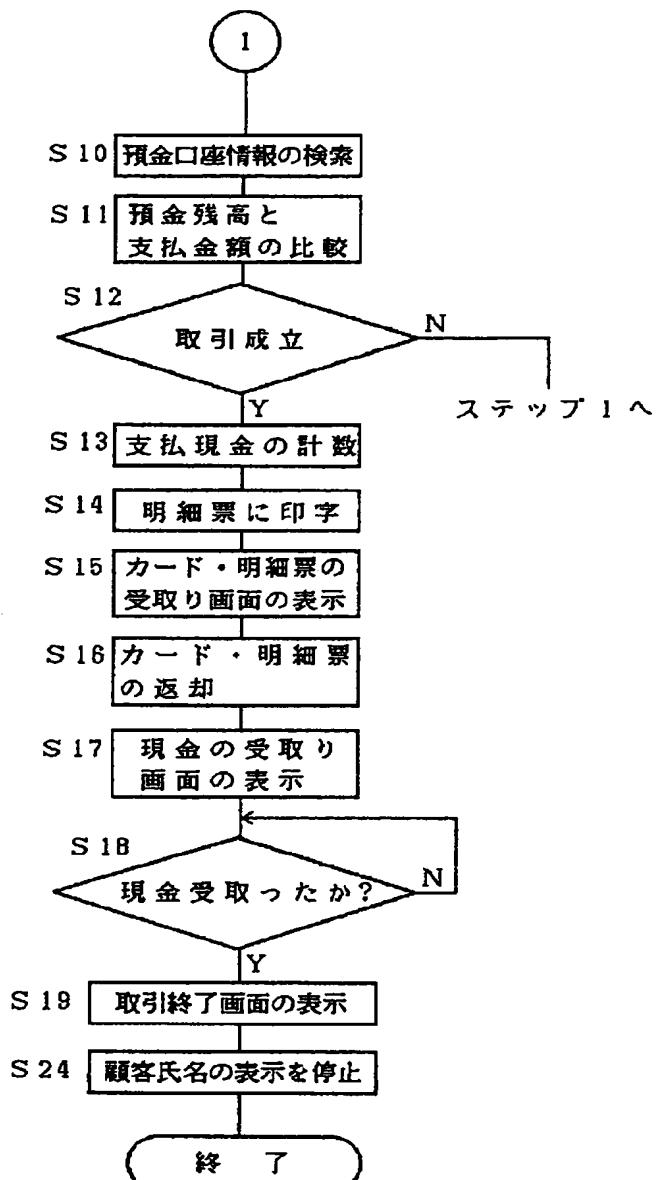
本発明の取引終了画面の一例を示す図

【図6】



本発明の動作フローチャート(1)

【図7】



本発明の動作フローチャート(2)

【図9】

第1トラック

内 容	始め符号	会社コード	お客様番号	契約条件	有効期限	金融機関コード	口座番号	予備フィールド	終り符号
内 容	I D M A I C K	1 1 D 区 分	6 桁	1 7 桁	1 2 桁	8 桁	1 1 桁	1 5 桁	C R C
レコード数	8 16 8	3 6	1 0 2	7 2	4 8	6 6	9 0	1 0 6	8 16

第3トラック

内 容	始め符号	お客様氏名 (漢字コード)	予備フィールド	終り符号
内 容	I D M A I C K	カ い ド 区 分		C R C
レコード数	8 16 8	5 2 0		8 16

振込カードのデータフォーマットを示す図

